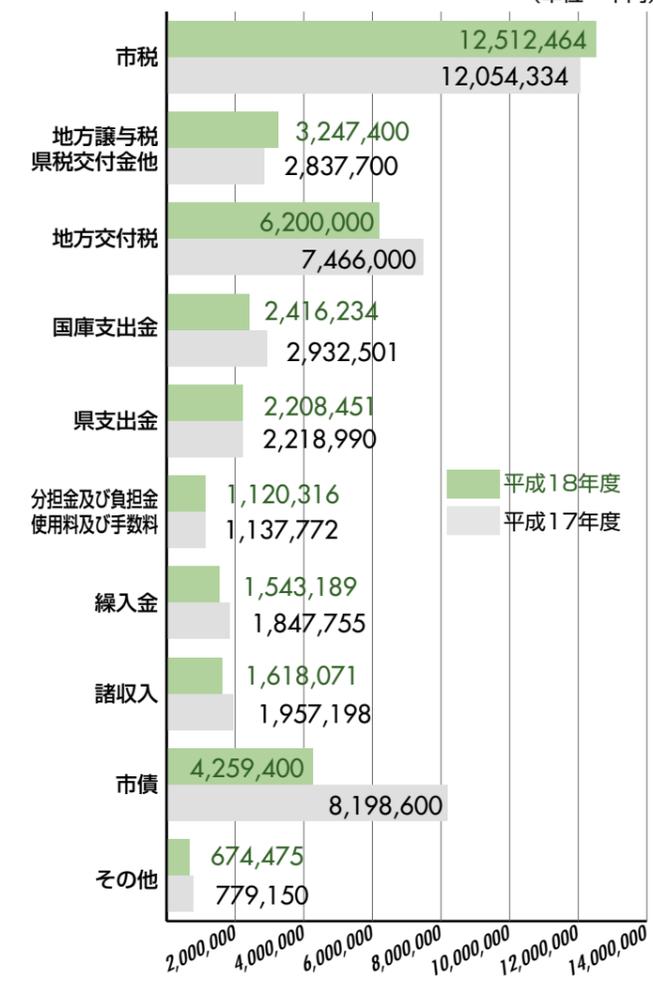
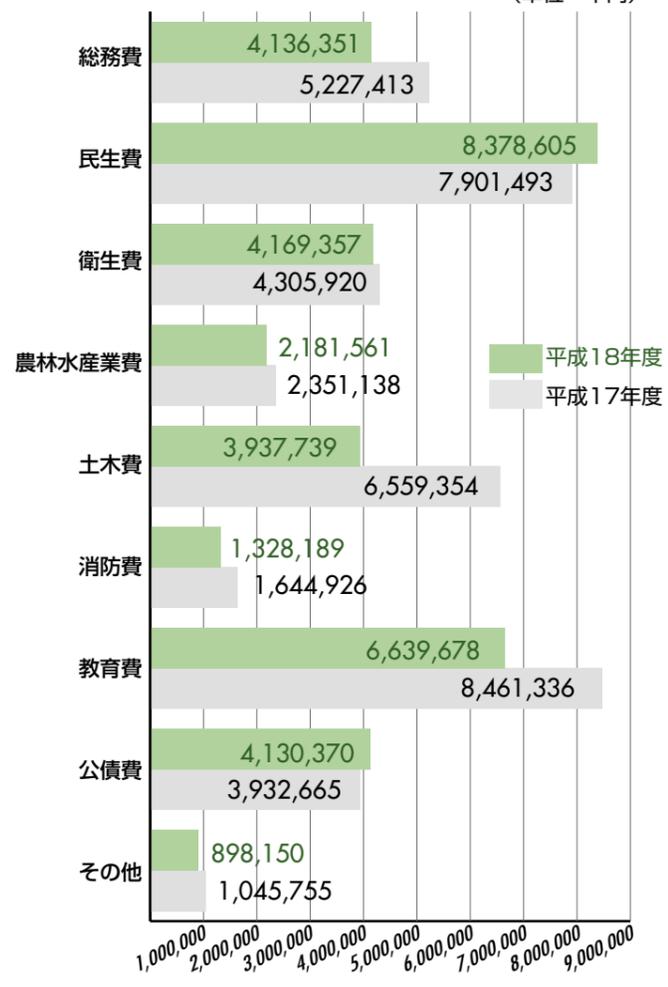


一般会計歳入歳出予算
 平成18年度 35,800,000千円
 平成17年度 41,430,000千円

歳入



歳出



施政方針を述べる中嶋市長

平成18年度の甲賀市の予算が決まりました。
 一般会計の総額は358億円です。
 限られた紙面でそのすべてをお知らせすることは難しいことです。
 そこで今回もこの人たちにお願いすることにしました。

市長の施政方針(抜粋)

甲賀市が産声を上げて2回目の春を迎えた私たちのまちが、自己決定、自己責任を果たしながら力強く発展を遂げていくためには、視点を中長期的に、当面の対策から将来を見通した行政対策が必要であり、スピードとレスポンスビリティ(責任)をもって、効果のある必要不可欠な施策を見極めていかなければなりません。加えて、自主財源の確保に努めながら、厳しい財政状況にあることを深く認識し、平成18年度予算は、削減すべきは削減し、痛みと危機感を持って施策の集中と選択を図り、歳入に見合った歳出を第一義に編成したものであり、財政の健全化を何よりも最優先とさせる年としたところ

であります。そうした中で編成しました18年度一般会計歳入歳出予算総額は、前年度比13.6%減の358億円を計上いたしました。
 また、前例や慣例にとらわれず、行政の守備範囲や住民負担の根本にさかのぼって見直し、費用対効果の検討も含めて、新市建設計画に掲げられる「みんながつくる住みよさと活気あふれるまち」づくりに向け、市民の皆さんとの多様な協働のもとに福祉向上につながる重点的かつ効果的な施策について集中と選択を行ったものであります。
 18年度予算は、厳しい財政状況にありますものの、その財源を確保するため、安易に一定のカット

を行ったものではなく、政策レベルに見直しをかけ、さらには体質的改善を図ろうとするもので、いわば、甲賀市改革元年という位置づけであります。
 過去の歴史が物語るように、当然ながら改革には痛みが伴うものでありますが、やり方や考え方の転換を図らなければ、真の改革は不可能であります。
 国から地方への時代といわれるなか、甲賀市が自主自立し、限りなく10割自治へ近づいたためには、質素を旨とする思い切った改革を行わなければならないものと考えておりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

甲賀市改革元年

特別会計・公営企業会計

項目	予算額	
	18年度	17年度
国民健康保険	6,821,000	6,788,000
老人保健医療	8,076,000	8,354,000
介護保険	3,908,000	4,248,000
公共下水道事業	6,563,000	7,059,000
農業集落排水事業	933,000	799,000
土地取得事業	15,000	14,000
野洲川基幹水利施設管理事業	11,732	28,740
分譲住宅団地建設事業		1,210
鉄道経営安定対策基金	7,465	6,300
鉄道施設整備基金	350	250
国民健康保険診療所	25,700	25,600
小計	26,361,247	27,324,100
病院事業	2,017,200	2,211,171
水道事業	5,375,262	4,563,003
小計	7,392,462	6,774,174
合計	33,753,709	34,098,274

※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算

たーちゃん 三位一体の改革っていうのは国の方針って聞いたことありますけど、結果的に国から入ってくるお金が少なくなってきたってことですね。基金や市債は家の台所事情と同じです。後々のことを考えて計画しなければいけません。うん、そうだね。なかなか勉強してきているね。市債は後々返済していかなければならないから、慎重に計画しなければいけない部分だね。
 歳出ではね、去年に公園や学校の整備の大きな事業があったからっていう部分と、全体的に削減して貴重な財源をより一層効率的に使おうっていう部分があるね。
たーちゃん なるほど、ちよっと難しいけど、要するに、国も県

たーちゃん なるほど、これが甲賀市の「住みよさと活気あふれるまち」なんです。ね。
達人 そうだね。そのためにいろんな事業が行われるってこと。
たーちゃん 今日はちよっと難しかったけど、また興味があわてきました。またいろいろ教えてください。いいよ。また登場したいしね。
達人 このグラフを見てくれたら去年との違いが分かると思うけど、さっきもいったように、去年大きな施設整備があった科目については大きな減額となっている。土木費や教育費がそのだね。逆に制度が変わったりして増額になった部分もある。細かい内容は次のページを見てくれるかな。
たーちゃん なるほど、これが甲賀市の「住みよさと活気あふれるまち」なんです。ね。

登場人物の紹介

予算の達人
 今年も予算編成こそわが人生で突っ走ります。

広報担当 たーちゃん
 甲賀市広報担当続行決定、より「層皆さん」にわかりやすい、面白い広報を心がけます。

たーちゃん 初めてお出合いからもう1年経つんですね、私あれから少し勉強したんですよ。今回もいろいろお聞きするんですよ、よろしくお願いします。
達人 おっ、勉強してきたのかい。広報担当者としていい心がけだね。

たーちゃん いい質問期待しているよ。ますね。
たーちゃん じゃあさっそくいきますね。
 今、去年の広報を見てるんですけど、予算全体の額がかなり減ってますよね。これって一言でいうとどうということなんですかね。
達人 いきなり核心をついてきたね。少し難しくなるけどいいかな。
 まず歳入ではね、三位一体の改革っていう国の方針で、国から入ってくる地方譲与税や地方交付税などの仕組みが変わったこと、市の貯金である基金の取り崩しを少なくしたこと、市の借金である市債を少なくしたことなどが挙げられるね。